

第208回 小布施掃除に学ぶ感謝の会 in 小布施町立栗ガ丘小学校

2022年6月11日(土) 普通教室棟一階 東側 女子トイレ

#「何かが違う」「立ち位置」「安心」「トイレに応じる」「場の提供」「続ける」

「何かが違う」

日台教頭先生 今日も床がとてもきれいになりました。私は毎日校内を回っているので床が汚れていて気になります。氣になれば自分でやればいいのですけど、自分でやつてもきれいになつた氣がしないのです。やり方が悪いのか、氣持ちが籠っていないのか、みんながいらっしゃらないのか・・・。今日やってみるときれいに感じるの、何が違うのかなと思つていきました。きれいにならないと嫌になつてしまふのですが、みなさんと一緒にいて工夫しながら掃除をするときれいになつたなど思います。何かが違うというそこを見極めたいと思います。



「立ち位置」

牛山 掃除リーダーを任せられましたが、今回も完璧なリーダーとはなれませんでした。それは、ウォシュレットのノズルや目地の汚れなど、私が気づかなかつた汚れをみなさんから指摘されたからです。ところが、そのおかげで教頭先生から教わつたことのある「協働学習」のポイントにつながりました。それは新しい学び方である協働学習は「授業者の立ち位置」が大事ということでした。なので、みんなに教わりながら一緒に掃除に学ぼうと思いました。かといって、ハッキリした目標を持たないとバラバラになるとと思うので注意が必要だと思いました。

「安心」

倉田先生 4月5月は余裕がなくて来られませんでした。でも、掃除に学ぶ会の活動報告を読む度に遠方の宮之本さんが心を整えいらっしゃるということを知つて何とか早めに行きたいと思つていました。今日は来られてよかったです。新しいトイレはだいぶ變つていて昔の方が良かつたと思つてしまふけれど、時代に合わせていくしかない寂しさも感じました。でも、いつもの3名(木下・宮之本・牛山)は必ずいらっしゃるのです。

安心できました。

「トイレに応じる」「場の提供」

宮之本さん

5月に便教会総会があり、愛知県豊田市の高校で掃除をしました。その床は湿式で水を撒けましたが、ここは乾式なので水をまげず、掃除のやり方が大分違いました。トイレに応じて掃除の仕方を変える必要を感じました。

もう一つは6月議会にある議員さんが「町会で年に2度一斉清掃をしているが、公共心の低下によって参加率が低下していく住民自治の危機

だ」という質問をされるそうです。掃除と言えば副市長の宮之本ということで私がその答弁を任されることになりました。でも、木下さんが場を提供してくれているから私も掃除ができます。場を提供し続けていることによって参加したいという人も出てくるし、参加することによって掃除の意味も見いだされる。場を提供し続けることが住民自治の維持・向上につながることになると議会で話そうと思っています。

「続ける」

木下代表 4ヶ月がかりで一階のトイレを全て掃除できました。緩やかな歩みですが、次回は2階のトイレを掃除できます。この人数だし、慌ててもしようがないし、でもやる事が大事だと思います。今回で2008回となりましたが、これからも続けていきたいと思いますのでようしくお願いします。

「何かが違う」という教頭先生の言葉がずっと氣になつてきました。昨日、いつものように公園へ出かけると、私より先にご近所の方が草取りをしていました。80代のその方は朝4時半から草取りをされていたそうです。それを聞いて私の中でスイッチが入りました。予定していた範囲を終えても手が止まりません。ご近所さんが疲れている様子を見ると「あともう少し」と思いながら草取りをしました。「残りもう少し」がわかると俄然やる気が湧いてきました。気がつけば一時間半経つていました。私が気になる草を他の方も気にかけて下さることの嬉しさ、一緒に草取りできることは大きな喜びです。そして、なんといつてもやり終えた後の達成感は一人では比べるものになりません。私にとつての何かとは感謝や感謝に誘発されるスイッチでした。

あとがき

次回は7月9日(土) 6:00～栗力丘小学校です。よろしくお願ひします。牛山 大輔拝